

2019 年度 大学院入試（英語学専攻）

博士課程（後期）

専門科目 英語学

---

【合否判定の方法】

《外国語科目》《専門科目》《面接》

提出書類および外国語試験、専門科目、面接の成績を総合的に評価し、合否を判定する。

【合否判定の基準】

提出書類および各試験の結果を総合的に評価し、研究計画の妥当性および博士課程後期課程における研究遂行能力を有しているかを判断する。

1 試験日 2019 年 2 月 15 日

2 科目 英語学（100 点満点）

3 出題意図

本問題は、英語学・言語学の主要領域に関する理論的理解とその運用能力、さらに研究者としての思考力を総合的に評価することを目的として作成されたものである。第 1 問では、生成文法とコーパス言語学という異なる立場の対比を通して、言語研究におけるデータ観および方法論の違いを的確に把握し、論理的に説明する力を問う。第 2 問では、語の動機づけに関する意味論的概念を理解した上で、それらを具体例として適切に提示できるかを測り、概念の運用力と分類の精度を評価する。第 3 問では、top-down と bottom-up という研究方法論の違いを具体例とともに説明させるとともに、自身の研究計画に即して適切な方法を選択し、その妥当性を論証する力を問う。これらを通じて、専門的知識の理解にとどまらず、それを基盤とした分析力・応用力・研究遂行能力を多面的に評価することを意図している。

以上